

子宮頸がんを予防するには？

みんなに関係のある、子宮頸がん

子宮頸部という子宮の入口に近い部分にできるがんです。日本では毎年1,1万人の女性が生検で子宮頸がんが診断され、さらに毎年2,900人の女性が亡くなっています。20歳代から増え始めて、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう人も、年間約1,000人います。

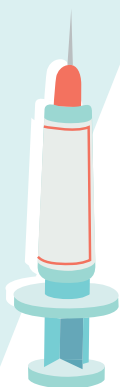
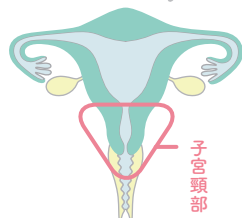
20代～30代にも多く、
誰にでも罹る
可能性のあるがん

子宮頸がんは予防のできるがんです

子宮頸がんは主に HPV(ヒトパピローマウイルス)への感染が原因で発症します。

HPV ワクチンの接種で感染を防ぎ、定期的な検診を受けることで子宮頸がんを予防することができます。

このウイルスは一度でも性的接触の経験があれば、男女共に誰でも感染する可能性があります。女性だけでなく、男性にも HPV によるがん発症のリスクがあります。



検診は専用の器具で優しく頸部の細胞を採取します。数分で終わる簡単なものです。

ワクチン接種 + 20 歳になったら 2 年に 1 度の定期検診

検診は健康で自覚症状の無い時に受けるものです。特にセクシャルデビュー後の女性は検診も受けていただきたいのです。子宮頸がんは初期段階で自覚症状はありません。何か気になる症状があれば2年以内でも必ず受診しましょう。